演題番号１

保健医療の分野では、オンライン診療の需要が増え、供給体制が整備されてきている。しかし、リハビリテーション領域においては遠隔地や、過疎地、身体状態や精神状態の理由で、テレリハビリテーションの需要があっても供給体制が整備されていない状況である。

他方で海外では、インターネットを利用したテレリハビリテーションの運用が行われており、通院が難しい患者にとって、テレリハビリテーションは選択肢の一つとして認知されている。

そこで、我が国でのテレリハビリテーションの推進に寄与することを目的として研究会を立ち上げて研究をおこなっていきたいと考えている。

具体的には、下記3点の活動をおこなっていきたいと考えている。

1．テレリハビリテーションの現状について国内外の情報の収集及び会員への情報提供

2．テレリハビリテーションに係る研究の企画

3．日本リハビリテーション連携科学学会大会の際に、テレリハビリテーションに係るラウンドテーブルの企画・運営

多職種・多領域の方々と幅広く交流しながらテレリハビリテーション普及に向けて活動していきたいと考えております。また交流会において今後、研究をご一緒して頂ける仲間も増やしていきたいと考えております。

関心のある方はご参加のほどよろしくお願い致します。